

第60回触媒化学融合研究センター講演会

産総研触媒化学融合研究センターでは、様々な分野で活躍している大学、公的研究機関、企業等の方々をお招きして講演会を開催することで分野の垣根を越えた連携の実現を目指しています。多くの方々のご参加をお待ちしております。

理論と実験の協奏による反応機構解明 分子構築・機能創出

<講師>

東京大学大学院薬学系研究科薬科学専攻
(兼)理化学研究所 内山元素化学研究室

内山 真伸 教授

日時:2018年7月23日(月)16:00~17:00

場所:産総研第5事業所 第2本館
第4会議室(5-2 6603室)

<講演概要>

有機化学が対象とする研究分野には、「手に取り出せないもの」「目には見えないもの」などが多数存在する。反応遷移状態、物性の予測、軌道間相互作用などもその一つである。これらをいかに合理的にデザインするかが、物質創製・機能設計にとっても重要である。私たちの研究室では、実験と理論を組み合わせることによって、元素の特性を理解し、機能をデザインすることで、いくつかの分子触媒、新反応、機能性材料を開発してきた。本講演では、実験と理論の融合から生まれた最近の成果を中心に、その「きっかけ・偶然・執念・発見・展開」についていくつか紹介したい。